

簡易な収入見込額の申立書(扶養義務者等用) 【家計急変者】

- 「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)申請書(請求書)」、「簡易な収入見込額の申立書(申請者本人用)」と一緒に提出ください。
- 配偶者、扶養義務者が複数名いらっしゃる場合、全員分の「簡易な収入見込額の申立書(扶養義務者等用)」(本書)をご提出ください。枚数が足りない場合は、本書をコピーしてお使いください。
- 下記にある【要件】を満たす場合に支給の対象となります。
申請者本人の年間収入見込額も勘案して支給を決定します。

申請者と生計を同じくする方の属性にチェック(☑)の上、名前をご記入ください。

	父母	祖父母	子	孫	曾祖父母	曾孫	兄弟姉妹	配偶者
氏名								

令和2年2月以降の任意の月の収入(1か月)の内訳およびその合計額をご記入ください。
令和2年2月以降に支給要件に該当するようになった方は、支給要件に該当するに至った月(離婚等)の翌月以降の収入等をご記入ください。

		令和__年__月								円	注意事項
収入内訳	給与収入【a】									円	給与収入がある場合にご記入ください。給与収入がない場合は0円と記入し、申立書右下の記入欄に理由をご記入ください。 給与明細書などの収入額が分かる書類をご提出ください。控除前の金額(通勤手当は含めない)をご記入ください。
	事業収入または不動産収入【b】									円	事業収入または不動産収入がある場合にご記入ください。事業収入または不動産収入がない場合は0円とご記入ください。 帳簿などの収入額が分かる書類をご提出ください。
	年金収入【c】									円	公的年金収入がある場合にご記入ください。公的年金収入がない場合は0円とご記入ください。 遺族年金・障害年金などの非課税の年金等も含まれます。年金決定通知書、年金額改定通知書、年金振込通知書などの支給額が分かる書類をご提出ください。
収入合計額【a + b + c】										円	青枠の収入額の合計額をご記入ください。

上記以外の収入については記載不要です。

×12

の収入合計額を12倍した金額をご記入ください。

年間収入見込額										円
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

の方が生計を同じくし養っている親族の氏名をご記入ください。【 】

	フリガナ 氏名	該当する場合は○			フリガナ 氏名	該当する場合は○	
		70歳以上(配偶者以外) の親族				70歳以上(配偶者以外) の親族	
1				4			
2				5			
3				6			

でご記入いただいた人数にチェックをしていただき、要件に該当するかの計算を行ってください。

の人数にチェックしてください。		基準額	【要件チェック】	
人数			左側で選択した基準額	円
0人		3,725,000円	の○の数×60,000円	円
1人		4,200,000円	(○以外の氏名がない場合は、○の数を1つ減らして計算)	
2人		4,675,000円	収入基準額(+)	円
3人		5,150,000円		
4人		5,625,000円	年間収入見込額()	円
5人		6,100,000円		
人		円		

6人以上いる場合は、1人増えるごとに475,000円を加算した金額をご記入ください。

【要件】 の年間収入見込額が収入基準額より低いこと。

【要件】を満たさない場合でも、「簡易な所得見込額申立書」(ピンク色)の要件を満たすことにより支給の対象となる場合があります。

給与収入がなく、給与明細などが提出できない方は、下記に理由をご記入ください。

例) コロナウイルスの影響により退職し、求職活動中である。

(次ページに続きます。)

【確認事項】（各項目のチェック欄（ ）に『 』を入れていただき、氏名をご記入ください。）

【要件】に該当します。

収入額が分かる書類（給与明細書や帳簿、年金額改定通知書等）を提出しています。

今後1年間に収入の多い時期がある、臨時の収入がある時期があるなどの事情により、今後1年間の収入見込額が収入基準額を上回ることが明らかであるものではありません。

給付金の支給要件の該当性等を審査等するため、練馬区が必要な扶養義務者の住民基本台帳情報や税情報、公的年金情報等の公簿等の確認を行うことや必要な資料の提供を他の行政機関等に求める・提供することに同意します。

本申立の内容に相違ありません。

令和 年 月 日

申請者氏名

扶養義務者氏名